

2021年度 事業報告書

学校法人名

学校法人 国際文化アカデミー

学校法人所在地

東京都豊島区巣鴨3丁目2番12号

2021 年度 学校運営報告

学校法人 国際文化アカデミー

1. 総 括

今年度につきましては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き感染症対策をベースに制約された学校運営を強いられました。昨年度と同様に学校行事の中止や簡素化、授業のオンライン化など制約や行動変容が求められる中でも、できる限り教育成果及び進路指導に与える影響の最少化に努めました。2 年生の進路につきましては、引き続きツーリズム産業の需要回復の不透明な状況が続き、就職活動は困難さを増しました。しかしながら、JTB グループによる当校の卒業生に対する採用の継続並びにツーリズム産業界以外にも積極的に就職活動を広げた結果、日本人就職希望者の内定率は 100% を達成いたしました。また、22 年度入学予定の新入生につきましては、昨年に増して状況は厳しく、さらに大幅に定員を下回りました。

今年度で中期経営計画「RE-CREATION JTC」が終了いたしますが、感染症防止対策が継続中であり、先行き不透明な事態を鑑み次期経営計画につきましては 1 年間の単年度計画といたします。次年度計画は「RE-CREATION JTC」は継続し、ニューノーマル時代のツーリズムに適応できる人間力の育成をメインに掲げました。本年で創立 40 周年となりますが、一つの通過点と考え、この難局を糧にさらなる JTB トラベル&ホテルカレッジの「新たな創造」を目指したいと存じます。

なお、22 年度の重要経営課題は、

- ① 多様化するツーリズム産業に貢献できる人財の育成と輩出
- ② 多様な職種を視野に入れた進路指導及び就職活動の強化
- ③ 外部環境に捉われない新入学生の安定的な確保
- ④ ICT を活用した学習活動の充実と ICT 環境整備
- ⑤ 学校運営体制の効率化と新たな収益確保

と設定し、課題解決に向けて取り組みを継続して参ります。

収支状況に関しましては、今年度入学生の大幅な減少を踏まえ、当初の教育活動収支予算は 132 百万円の支出超過の編成を致しました。しかしながら、学生生徒等納付金が当初算定以上になったこと、今年度実施した教職員及び専門講師の報酬削減に伴う人件費の着実な削減、行事費、研修費の低減により、修繕費の予算外支出が発生したものの後述のとおり、97 百万円の支出超過の決算となりました。

次年度の教育活動収支につきましては、引き続き学生数の定員割れがさらに拡大し、大幅な支出超過が見込まれることから、教育内容及び教育環境の劣化を招くようなレベルの支出削減は避けることを前提に、要員の自然減耗及び一時的な給与・報酬の減額策を継続し、あらゆる管理経費の見直しによる経費削減を図り支出超過の縮減に努めます。

2. 教務・学生指導関連

教務・学生指導につきましては、昨年度から策定した「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」をもとに対策を講じたうえで基本的には対面授業を実施し、緊急事態宣言下において、学科学年別に延べ65日間オンライン授業を導入いたしました。オンライン用の授業内容を年度初めより計画的に準備をし、昨年以上に講師スキルも向上しました。また対面授業や学生への連絡方法においてデジタルツールを利用し、新たなコミュニケーション手法、タイムリーな情報伝達体制を確立して参りました。重点課題といたしましては、以下の2点に取り組んで参りました。

① 「国際観光ビジネス科グローバル・インバウンドコース」2か年終了

語学に興味のある学生が多い中、英検準1級を獲得したり、「データマーケティング講座」受講により、論理的に課題解決できる力を身に着けるなど、一定の成果を上げることができました。今後はインバウンド関連カリキュラムを強化し、今後のインバウンド人材育成を実行して参ります。

② コロナ禍後のツーリズムマーケット変化に対応するカリキュラム展開

業界の基礎知識の早期定着、旅行実務関連カリキュラムの統廃合、ITリテラシーの拡充を核として、ウィズコロナを意識した授業を実施いたしました。

企業に求められる観光人材になりうるため、そして厳しい就職戦線に備えるための加重授業として1年生前期（対象：国際観光ビジネス科、訪日科）から「ツーリズム基礎」カリキュラムを新設しました。

ITリテラシー関連では、国際観光ビジネス科グローバル・インバウンドコース（以下GIコース）で、データを利活用する実務者養成を狙いとする「データマーケティング講座」を実施しました。GIコース2年生の前期スタート、後期までの通年授業で展開しましたが、授業スタートの前倒し（1年生後期から）、観光総合コースの学生への選択も加重し、就職活動での強みの1つとすべく改変して参りました。

また、後期に「IT力基礎」をトライアル実施、来年度は「ITパスポート資格対策」として必須化、他の既存のIT関連授業拡充の上、旅行実務に加え即戦力として企業に選ばれる人材育成を実践して参ります。

具体的な取組内容、成果については以下のとおりです。

(1) 学生動向について

今年度は新1年生98名（昨年226名）を迎え、学生総数304名（昨年449名）でスタートしました。期中における退学者は7名で、休学者・復学者の出入りを含め、次年度の新2年生は90名となりました。

学生の在籍者推移は【表1】、また学科別の在籍者推移は【表2】のとおりです。

退学率2.3%は過去10年間で最も低く（2012年度4.7%以来）、2年生においては退学者が発生しておりません。オンライン授業実施による退学率低下も考えられます。

【表1】 学生在籍者推移

	2021 年度	1年生	2年生	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
期首在籍数 (復学者)	304 (8)	98 (0)	206 (8)	449 (10)	466 (12)	456 (6)	503 (8)
退学者	7	7	0	33	36	35	43
期中休学	1	0	1	4	2	4	1
期中復学	1	0	1	1	0	0	0
期末在籍数	297	91	206	413	428	417	460
退学率	2.3%	7.1%	0.0%	7.3%	7.7%	7.7%	8.5%

【表2】 学科別・学生在籍者数推移 [期首]

[単位:人]

	2021 年度	1年生	2年生	2020 年度	1年生	2年生	2019 年度	1年生	2年生
国際観光ビジネス科	211	82	129	283	141	142	294	164	130
訪日科	49	12	37	84	43	41	87	47	40
国際ホテル&ブライダル科	31	4	27	49	27	22	46	25	21
夜間部	13	0	13	33	15	18	39	22	17
期首在籍数	304	98	206	449	226	223	466	258	208

(2) 旅行業務取扱管理者資格の取得について 【表3】【表4】

国内旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、国内）57名、うち1年生全科目合格者は51名となりました。合格率は63%（全国平均40.9%+22.1ポイント）で、目標の70%には到達しませんでした。オンライン授業との併用の中で昨年度を上回り健闘いたしました。

総合旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、総合）28名、うち1年生合格者は18名、合格率22.8%（全国平均6.2%+16.6ポイント）となり、国内同様目標の40%に到達できませんでした。総合試験日が例年より2週間遅れたことにより、後期授業を挟んで変則的な対策授業を実施しましたが集中力の欠如が顕著となりました。次年度に向けて、出題傾向の変化を分析し対策を講じて、再び合格率アップを目指します。

【表3】 総合旅行業務取扱管理者資格 試験結果

[単位:人]

区分		2021年度				2020年度				2019年度		
		合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前々年増減	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者
全科目	観光科1年	18	▲30	22.8%	79	48	▲22	35.8%	134	#DIV/0!		
	全国結果	175	▲581	6.2%	2,819	756	261	18.5%	4,086	台風19号直撃, コロナウイルス感染防 止のため、試験中止		
他	他1年生	0	▲3	0.0%	1	5	3	33.3%	15			
	2年生他	11	▲33	26.2%	42	61	44	47.7%	128			
JTC 計 (ウチ留学生)		29 (0)	▲85 (▲2)	23.8%	122	114 (2)	25 (▲4)	41.2%	277			

【表4】 国内旅行業務取扱管理者資格 試験結果

[単位:人]

区分		2021年度				2020年度				2019年度		
		合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者
全科目	観光科1年	51	▲14	63.0%	81	65	▲51	49.6%	131	116	75.8%	153
	全国結果	4,055	▲36	40.9%	9,910	4,091	▲1,031	35.8%	11,424	5,122	39.1%	13,103
他	他1年生	1	▲6	20.0%	5	7	▲3	50.0%	14	10	55.6%	18
	2年生	5	▲2	10.6%	47	7	▲1	17.5%	40	8	23.5%	34
JTC 計 (ウチ留学生)		57 (5)	▲22 (+1)	42.9%	133	79 (4)	▲55 (▲5)	42.7%	185	134 (9)	65.4%	205

(3) その他、各種資格の取得について

各種検定試験の受験による資格取得を奨励しており、今年度の合格状況は【表5】のとおりです。

3年目受験を迎えた国家資格「ホテルマネジメント技能検定」3級につきましては、受験者12名に対し合格者8名（合格率67%、2020年度7名50%）と目標50%を上回る結果に終わりました。

「実用英語検定準1級」の1名合格は12年ぶりで、GIコース在籍の2年生が合格しました。

記載以外では、「おもてなし検定」3級に3名（うち留学生1名）、日本添乗サービス協会主催「第1回インバウンド検定」に11名（全員留学生）合格しております。

【表5】各種検定試験 合格者推移

[単位:人]

資 格	2021 年度	増減	2020 年度	増減	2019 年度	増減
旅行地理検定日本上級(※)	1	1	0	—	—	—
旅行地理検定日本中級(※)	23	3	20	—	—	—
旅行地理検定世界上級(※)	2	1	1	—	—	—
旅行地理検定世界中級(※)	5	1	4	—	—	—
ビジネス能力検定3級	5	▲ 24	29	▲ 24	53	▲ 1
パソコン検定2級	27	13	14	▲ 4	18	▲ 18
パソコン検定1級	2	1	1	▲ 2	3	0
世界遺産検定1級	0	▲ 1	1	1	0	0
世界遺産検定2級	12	▲ 6	18	2	16	▲ 20
実用英語技能検定準1級	1	1	0	0	0	0
実用英語技能検定2級	7	2	5	▲ 2	7	3
秘書検定2級	9	▲ 3	12	2	10	8
秘書検定準1級	0	0	0	0	0	▲ 1
ホテルマネジメント技能検定3級	8	1	7	1	6	—
レストランサービス技能検定3級	16	0	16	0	16	▲ 2
ブライダルコーディネーター技能検	16	8	8	6	2	0
旅のユニバーサルデザインアドバイザー	71	▲ 45	116	—		

※名称等級変更、2019年度以前「旅行地理検定国内/海外1～3級」

(4) 実習・研修プログラムの実施状況について【表6】

校内での講義以外に、基礎的な旅行・観光関連実務の体得を目的とした学外実習や研修を、学科別にカリキュラムに織り込み、効果的な専門能力の養成に努めております。

今年度は、東京2020オリンピックパラリンピック開催にあたり、選抜30名を羽田空港、成田空港にて空港業務研修を実施しました。（主管：JTB ビジネストラנסフォーム）

夜間部デュアル実習については、全員通年での実施が叶わず、業界以外でのアルバイトを実習として単位取得を認定したケースも発生しました。

国際観光ビジネス科の国内研修（1年次沖縄）、海外研修（2年次ヨーロッパ）は実施に叶わず、2年次に代替措置として東北研修（2月）を計画しましたが、まんえん防止等重点措置期間と重なり中止としました。2年間を通じて1度も現地研修体験ができずに卒業することとなりました。

訪日科、ホテル&ブライダル科においては、1、2年合同での研修を実施し、学年を超えたコミュニケーションの機会創出にもつながりました。

WITH コロナが継続する中、前例にこだわらず、現地研修の実施時期、方面等来年度は1つでも多く実施できるよう検討して参ります。

また、入学前より人気のある当校ならではの海外支店実習は、学内選抜11名（例年20名）をオセアニア、ヨーロッパ、シンガポールの3方面で海外支店とつなぐオンライン就業体験として実施しました。

【表6】学科別 実習・研修実施状況

学科	対象	種別	内 容	実施時期	備 考
国際観光ビジネス科	1年	必修	① 校外学習	11月	羽田空港見学
	1年	必修	② 国内研修旅行	2月	沖縄2泊3日中止(次年度検討)
	1年	選抜	③ 海外支店実習	2～3月	中止、オンライン就業体験5日間実施
	1年	選抜	④ 法人個所実習	2月	中止
	2年	必修	⑤ 国内支店実習	7～8月 11～12月	東京2020オリンピックパラリンピック空港助勤(選抜) 3日間(例年夏期3週間)にて実施
	2年	必修	⑥ 海外研修旅行	12月	パリ4泊6日中止(オンラインツアー実施)
訪日科	1年	選択	① 国内研修旅行	12月	日光日帰り研修(1, 2年生合同)
	1年	必修	② 校外学習	11月	鎌倉日帰り研修
	2年	選択	③ 国内研修旅行	12月	日光日帰り研修(1, 2年生合同)
国際ホテル科 & ブライダル科	1年	必修	① 国内ホテル見学	7月	帝国ホテル(1, 2年生合同)
				2月	中止(次年度検討)
	1年	必修	② 国内ホテル実習	夏期	シェラトングランデトーキョーベイにて実施
				冬期	2施設にて実施(都内、湯河原)
	2年	必修	③ 海外研修旅行	12月	国内(北陸、加賀屋)にて実施
夜間部	2年	必修	④ 国内ホテル実習	夏・冬	1年次中止分を都内、軽井沢にて実施
			デュアル実習	年間	公財)日本交通公社、JTBコミュニケーションデザイン

(5) 特別講師による授業の実施状況について【表7】【表8】

職業意識の醸成を目的として1年生を対象とした「クローズアップ（業界・企業）」、変化するツーリズム産業における旬のテーマや業界動向の理解を目的として、内定後の2年生を対象とした「クローズアップ（観光産業）」、現場の最前線で活躍しているプロフェッショナルな方々や卒業生たちから、経験談を踏まえてホスピタリティの本質を語っていただく「ホスピタリティ講座」は多くの企業、関係者に多大なる協力を仰ぎ、今年度も受講者に具体的な行動に移せるような機会創出となりました。

【表7】クローズアップ講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関
クローズアップ (業界・企業)	国際観光 ビジネス 科 1年生	①JTB ②JTBグローバルマーケティング & トラベル ③JTBビジネスstransフォーム ⑩叙々苑 ④J&Jギフト ⑪ひらまつ ⑤JTBビジネスstravelソリューションズ ⑥小田急トラベル ⑫ケン不動産リース ⑦羽田空港サービスグループ ⑬日の丸リムジン ⑧にしけい ⑭日の丸自動車 ⑨首都圏新都市交通(つくばエクスプレス)
クローズアップ (観光産業)	国際観光 ビジネス 科 2年生	①JTB総合研究所(アドベンチャーツーリズム、SDGs) ②世界遺産検定マイスター ③エコツーリズム(流通経済大学教授) ④土湯温泉山水荘(温泉旅館と地方創生) ⑤東京観光財団 ⑥武蔵野市観光機構 ⑦ジャパンショッピングツーリズム協会 ⑩ロングステイ財団 ⑧クルーズバケーション ⑪日本健康開発財団 ⑨アニメツーリズム協会 ⑫インフラツーリズム

【表8】ホスピタリティ講座講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関
ホスピタリティ 講座	国際観光 ビジネス科 2年生 国際ホテル& ブライダル科 1・2年生	JTB代表取締役社長 卒業生講話 JTBお客様相談室 日本ホテル JTBデータサービス 京王プラザホテル(※) ジェイアイ傷害火災保険 JRホテルグループ JCBトラベル グランドニッコー東京台場 JTBビジネスstransフォーム ハイアットリージェンシー京都 明海大学 フェイスアップ STH JAPAN 稲取温泉 石花海 ベルトラ ホテルー井

※京王プラザ様は、来校せずバリアフリーのお部屋を中継するなどリモート講義にて実施

(6) 安心して登校できる学習環境の整備

3密を避けるための「新型コロナウイルス感染症 予防ガイドライン」に基づき、少しでも具合の悪い場合は登校を控えるなど健康被害抑止に努めました。

また、ワクチン接種日や接種による発熱等での欠席を公欠扱いとし、ワクチン接種の奨励もいたしました。

コロナ感染症 42名(昨年度 11名)、濃厚接触者 35名(同 18名)となり、今後も感染ケースを想定した、学習環境整備が必須となって参ります。

予防対策とともに、軽症の場合は、自宅でも学べるハイブリット式授業を拡充し継続して学ぶ環境を整備して参ります。

3. 進路指導関連

2022 年 3 月卒業者のうち、就職希望者数、日本人学生 144 名、留学生 32 名、合計 176 名全員採用内定となり、2 年振りに就職内定率 100%を達成しました。

就職活動がスタートする 2020 年秋ごろから 2022 年度採用を見送る企業が相次ぎました。旅行会社の求人は限定され、宿泊施設は例年より採用時期が遅れるなど長期戦を想定しながらの進路指導となりました。対象学生には、ツーリズム産業とともに他業界研究や自己分析をしっかりと行うことを徹底し、厳しい状況の中でも自分に合致した企業への早期内定を目標とさせ指導することと、学外説明会・インターンシップへの積極的参加、就職関連サイト・ハローワークの有効活用など学生個々の幅広い進路選択に向けたガイダンスの強化をして参りました。

企業の選考方法も感染防止を優先したオンライン面接が一般化され、選考動向に合致した実践的な面接指導も繰り返し行って参りました。

また、推薦図書の利用促進、図書室の活性化と読解力・思考力等社会人基礎力へ繋げることを目的に、読書レポートの提出を今年度義務付けました。スマホ中心の Z 世代である学生にとっては、スマホ利用を読書時間にするにより、想像力、継続力を養い、心豊かになる「心の避難場所」と捉えたケースもありました。

日本人学生、留学生を併せた 176 名の就職内定先及大学編入先は、11～12 ページ【表 10】のとおりです。

旅行関連会社への内定者 51 名（構成比 28.9%）のうち 84%にあたる 43 名が、JTB グループ会社、及び JTB 総合提携店・パートナー店に内定しております。

宿泊・料飲関係は、春以降も断続的に採用意欲のある企業様からの求人の結果、65 社 81 名（昨年 42 社、61 名）となり、全体構成比も 46%（昨年実績比+9.5 ポイント）となりました。

大学編入の進路選択者も増加しており、4 年連続の東洋大学国際観光学部 3 名の他、複数の観光を学ぶ大学に編入予定です。大学編入も就職と同様、選択肢の 1 つとして、強化、支援をしてまいります。そして大学で多様なカリキュラムを習得することで、2 年後、よりツーリズム業界に求められる人材となることを期待します。

なお 40 期生（現 1 年生）対象の校内企業説明会を 12 月より開始しております。ご協力をいただいた企業様は、【表 9】のとおりでございます。

【表9】校内企業説明会 実施状況(2022年3月実施分まで)

JTB	ホテルオークラ東京
JCBトラベル	プリンスホテル
JTBビジネストラベルソリューションズ	共立メンテナンス
JTBビジネストラנסフォーム	ハレクラニ沖縄(※)
J&Jヒューマンソリューションズ	ロイヤルパークホテルアンドリゾート
JTBグローバルアシスタンス	オリックスホテルマネジメント
JTB商事	コンラッド東京
J&Jギフト	リゾートトラスト(※)
I&Jデジタルイノベーション(※)	ミリアルリゾート(※)
びゅうトラベルサービス	関東東急ホテルズ
マイタウントラベル	東急ホテルズ新宿ホテル計画準備室
JR東海	ホテルモントレ
首都圏新都市交通(※)	ブライトンコーポレーション
羽田空港サービスグループ	ニューオータニ東京
JALグランドサービス(※)	森ビルホスピタリティコーポレーション
NAAリテーリング(※)	ザ・マンハッタン
日の丸リムジンググループ	
JTB協定旅館ホテル連盟合同説明会(8施設)	
①おんやど恵②ホテルおかだ(※)③喜久多④日光千姫物語、	
⑤中沢ビレッジ(※)⑥ホテルサンバード(※)⑦KPG⑧はいむるぶし(※)	

※オンライン説明会実施

【表10】2021年度卒業生（第39期生） 内定先及び進学一覧

	総 数	就職希望者数	内定者数	未内定者	内定率	前年就職者数
日本人学生	164 人	144 人	144 人	0 人	100.0%	140 人
留 学 生	42 人	32 人	32 人	0 人	100.0%	27 人
計	206 人	176 人	176 人	0 人	100.0%	167 人

* 印は
留学生採用企業
★ 印は
新規採用企業

●JTBグループ企業 構成比 22.7% ← 23.4%

企業名	人数	増減	38期
1 JTB	17	▲ 4	21
2 JTBビジネスホテルソリューションズ	5	± 0	5
3 JTBベネフィット	3	+ 3	0
4 JTBビジネスストランスフォーム	4	+ 2	2
5 JTBグローバルアシスタンス	3	+ 3	0
6 JCBトラベル	1	▲ 2	3
7 J&Jギフト	2	+ 2	0
8 ★ J&Jヒューマンソリューションズ	5	+ 5	0
9 その他JTBグループ会社	0	▲ 8	8
計	40	+ 1	39

●その他旅行会社 構成比 4.5% ← 6.6%

企業名	人数	増減	38期
1 ★ JCIT	4	+ 3	1
2 ★ ジャパンライフ	1	+ 1	0
3 ワールドツアープランナーズ	1	+ 1	0
4 ★ 日佳国際旅行	1	+ 1	0
5 フェニックス観光	1	± 0	1
6 その他	0	▲ 9	9
計	8	▲ 3	11

●JTB総合提携店・パートナー店 構成比 1.7% ← 4.8%

施設名（企業名）	人数	増減	38期
1 浦安旅行サロン	2	± 0	2
2 マイタウトラベル	1	▲ 2	3
3 その他	0	▲ 3	3
計	3	▲ 5	8

●運輸関係 構成比 5.7% ← 9.0%

企業名	人数	増減	38期
1 帝産観光バス	3	+ 1	2
2 日の丸リムジン	2	+ 2	0
3 東京地下鉄	1	+ 1	0
4 日本交通	1	+ 1	0
5 茨城交通	1	+ 1	0
6 JR東日本ステーションサービス	1	± 0	1
7 JR東海	1	± 0	1
8 その他	0	▲ 11	11
計	10	▲ 5	15

●空港サービス、警備関係 構成比 6.8% ← 7.8%

企業名	人数	増減	38期
1 にしけい	5	+ 1	4
2 羽田空港サービスグループ	4	+ 4	0
3 航空保安事業センター	2	▲ 5	7
4 東洋トラフィックサービス	1	+ 1	0
5 その他	0	▲ 2	2
計	12	▲ 1	13

●宿泊・料飲関係 構成比 46.0% ← 36.5%

施設名（企業名）	人数	増減	38期
1 ★ ホテルかずさや	3	+ 3	0
2 ★ KPGホテル&リゾート	3	+ 3	0
3 叙々苑	3	± 0	3
4 リゾートトラスト	2	+ 2	0
5 シェラトングランデトーキョーベイ	2	+ 2	0
6 うかい	2	+ 2	0
7 ★ ミリアルリゾートホテル	2	+ 1	1
8 ★ おんやど恵	2	+ 1	1
9 奥利根温泉ホテルサンバード	2	+ 1	1
10 金谷ホテル観光	2	± 0	2
11 ロイヤルパークホテルズ&リゾーツ	2	± 0	2
12 プリンスホテル	2	▲ 1	3
13 ホテルおかだ	2	▲ 1	3
14 コンラッド東京	1	+ 1	0
15 ★ 親湯温泉	1	+ 1	0
16 あさや	1	+ 1	0
17 ホテルプラム	1	+ 1	0
18 あぶらや燈千	1	+ 1	0
19 ベストアニバーサリー	1	+ 1	0
20 PHG琉球ホテルマネジメント	1	+ 1	0
21 久兵衛	1	+ 1	0
22 ★ テーベロップヤリタ	1	+ 1	0
23 日本ハウスホテル&リゾート	1	+ 1	0
24 強羅花扇	1	+ 1	0
25 浦安ブライTONホテル	1	+ 1	0
26 星野リゾート	1	+ 1	0
27 ホテルモントレ	1	+ 1	0
28 ルートイン	1	+ 1	0
29 なだ万	1	+ 1	0
30 東京會館	1	+ 1	0
31 森トラスト・ホテルズ&リゾート	1	+ 1	0
32 マグナリゾート	1	+ 1	0
33 伊藤園ホテルズ	1	+ 1	0
34 千里の風	1	+ 1	0
35 金乃竹	1	+ 1	0
36 オリックス・ホテルマネジメント	1	+ 1	0
37 四季の館 箱根戸ノ湖	1	+ 1	0
38 オクマプライベートビーチ&リゾート	1	+ 1	0
39 ★ ハイアットリージェンシー東京	1	+ 1	0
40 NASPAニューオータニ	1	+ 1	0
41 ★ ニューオータニイン東京	1	+ 1	0
42 ★ ニューオータニイン横浜プレミアム	1	+ 1	0
43 ★ 暖香園	1	+ 1	0
44 ローズホテル横浜	1	+ 1	0
45 大江戸温泉物語	1	+ 1	0
46 ★ 祥雲	1	+ 1	0
47 ひらまつ	1	+ 1	0
48 住友ヴィラフォンテーヌ	1	+ 1	0
49 PJ Partners	1	+ 1	0
50 ★ 箱根藍瑠	1	+ 1	0
51 ★ 関東東急ホテルズ	1	+ 1	0
52 ホテル一井	1	± 0	1
53 ホテルニューオータニ東京	1	± 0	1
54 ★ 喜久多	1	± 0	1
55 ★ いなとり荘	1	± 0	1
56 ホテル三日月グループ	1	± 0	1
57 小田急リゾート	1	± 0	1
58 箱根花紋	1	± 0	1
59 水上高原リゾート	1	± 0	1
60 共立メンテナンス	1	▲ 1	2
61 ★ ホテル櫻井	1	▲ 1	2
62 日本ホテル	1	▲ 5	6
63 ★ リブマックスホテル	1	+ 1	0
64 ★ ベルゲンホテル	1	+ 1	0
65 ★ 下呂温泉 木曽屋	1	+ 1	0
66 その他	0	▲ 27	27
計	81	+ 20	61

第39期生 就職内定者計

176名

2021年度卒業生(第39期生) 内定先及び進学一覧

*印は
留学生採用
★印は
新規採用

●その他

構成比 12.7% ← 12.0%

	企業名	人数	増減	38期
1	ハウスパートナー	★	1	+ 1 0
2	オーケー	★	1	+ 1 0
3	練馬区社会福祉事業団	★	1	+ 1 0
4	東京ドームスポーツ	★	1	+ 1 0
5	KAWASAKI歯科	★	1	+ 1 0
6	* エントラスト	★	1	+ 1 0
7	アインホールディングス	★	1	+ 1 0
8	PL東京健康管理センター	★	1	+ 1 0
9	Raffine	★	1	+ 1 0
10	高山電設工業	★	1	+ 1 0
11	アール・エス・シー	★	1	+ 1 0
12	バグース	★	1	+ 1 0
13	* Vollmontホールディングス	★	1	+ 1 0
14	スポーツクラブ南光	★	1	+ 1 0
15	社会福祉法人善光会	★	1	+ 1 0
16	SCOPS	★	1	+ 1 0
17	ヴァンドームヤマダ	★	1	+ 1 0
18	* 恒興商事	★	1	+ 1 0
19	* タイムエース	★	1	+ 1 0
20	京浜電設	★	1	+ 1 0
21	* ビデオインフォメーションセンター	★	1	+ 1 0
22	* 居酒屋ステーキ	★	1	+ 1 0
23	その他	0	▲ 20	20
	一般企業就職者 計	22	+ 2	20

●大学編入

	施設名(企業名)	人数	増減	38期
1	東洋大学 国際観光学部	3	± 0	3
2	神奈川大学 国際日本学部	★	1	+ 1 0
3	神奈川大学 外国語学部	★	1	+ 1 0
4	横浜商科大学 商学部	1	+ 1	0
5	宇都宮大学 国際学部	★	1	+ 1 0
6	江戸川大学 社会学部	★	1	+ 1 0
7	* 帝京大学 観光経営学科	1	+ 1	0
8	* 淑徳大学 経営学部	★	1	+ 1 0
9	* 帝京平成大学 人文社会学	★	1	+ 1 0
	計	11	+ 8	3

4. 学生募集関連

学生募集活動につきましては、感染症の継続による影響から、志望する学生はさらに減少することが懸念されておりました。よってオンラインによる学校説明会や面接による募集活動は継続しつつ、さらにオリンピック・パラリンピックの開催期間に、学校説明会を追加設定して募集活動に努めたのですが、結果は予測以上に困難をきたしました。

留学生に関しては、入学実績が多い日本語学校を重点的に訪問し、募集活動を行いました。外国人の来日が困難な状況が続いたことから、昨年度にもまして日本語学校に在籍する学生が減少しており、苦戦いたしました。

2022年度の入学者は【表11】のとおり44名（前年比44.9%）と大幅な定員割れをすることになり、うち日本人学生は34名（前年比41.5%、48名減）、留学生は10名（前年比62.5%、6名減）となりました。

【表11】入学者数の推移

入学年度	2022 年度見込	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度
観光科 (ウチGIコース) (ウチ留学生)	20 (3) (1)	82 (11) (3)	139 (29) (1)	163 - (6)	148 - (11)	155 - (15)	162 - (17)
ホテル科 (ウチ留学生)	11 (3)	4 (1)	27 (5)	25 (3)	23 (6)	27 (5)	23 (3)
訪日科 (ウチ留学生)	6 (6)	12 (12)	43 (43)	47 (47)	45 (45)	43 (43)	52 (52)
夜間部 (ウチ留学生)	7 (0)	0 (0)	15 (0)	20 (0)	20 (0)	34 (0)	28 (0)
合計 (ウチ留学生)	44 (10)	98 (16)	224 (49)	255 (56)	236 (62)	259 (63)	265 (72)
前年比	44.9%	43.8%	87.8%	108.1%	91.1%	97.7%	90.8%

日本人学生	34	82	175	199	174	196	193
前年比	41.5%	46.9%	87.9%	114.4%	88.8%	101.6%	81.4%

(1) 広報展開について

ホームページや進学情報誌への広告展開に加え、高校生に最も影響力の高いSNSへの広報宣伝を強化しました。SNSはツイッター、LINE、インスタグラムにおける展開の取り組み続けております。今後も一人でも多くの高校生に魅力ある内容を吟味しながら情報発信して参ります。

コロナ禍において、特に関心が高いと思われる就職内定状況をホームページ上にリバイスしながら情報公開しつつ、より広く認識してもらえるよう資料請求者に対してメルマガを配信し続けました。

対面営業の出来ない緊急事態宣言下には、進学サポート企業を通じて、首都圏の高等学校にFAXによる入試情報の発信を行いました。また、他の観光系専門学校のオープンキャンパス実施時にそのエリアに滞在する学生層宛てにスマホ広告を発信したり、資料請求画面に当校のバナーを表示させるなど、デジタル活用の広報を

積極的に行いました。

【表 12】のとおり、資料請求数は7,165件（前年比97.9%）、ホームページの総ユーザー数は63,629人（前年比89.1%）に留まったのですが、スマートフォンに関しては32,718人（前年比64.1%）と大幅にユーザー数が落ち込みました。しかし、一昨年度に発信を始めたインスタグラムにおいては、フォロワー数が昨年度末1,055名登録に対して、1,640名と1.5倍以上に増加しておりますので、今後も効果的なSNSを見極め情報発信に活用いたします。

【表12】広報・説明会等の実施状況

対象	内 容	2021年度		2020年度		2019年度 実績
		実績	前年比	実績	前年比	
広報	資料請求	7,165件	97.9%	7,319件	92.5%	7,916件
	HP総ユーザ数	63,629人	89.1%	71,393人	92.7%	76,995人
	（うち、スマートフォン）	32,718人	（64.1%）	51,021人	（95.0%）	53,727人
説明会 （日本人・生徒）	学 内 開 催	延人数	（148人）	（61.2%）	（242人）	（40.1%）
		* 実人数	124人	78.5%	158人	37.6%
		うち、出願数	37人	40.7%	91人	59.5%
		出願率	29.8%	▲ 27.8%	57.6%	+ 21.2%
	学 外	実施回数	64回	173.0%	37回	62.7%
		参加者	409人	177.1%	231人	64.2%
留学生	学内個人面談（留学生）	15人	26.3%	57人	34.3%	166人

※ 前年度3月～当年度2月の実績比較、* 実人数は、該当年度受験対象者のみ

(2) 営業活動について

全国の高校へは学校案内を送付しながら、入学実績校に関しては指定校推薦書を交付して更なるパイプ強化に努め、学校説明会への積極的な参加を依頼しましたが、保護者が抱くツーリズム産業への不安感により苦戦いたしました。

高校や催物会場で行う進路ガイダンスへの積極的な参加を図りましたが、ツーリズム産業に対する不安感を払拭するまでは至りませんでした。資料請求者及び学校説明会参加者へのアプローチを目的とした首都圏・関東・甲信越エリアの高校への訪問も緊急事態宣言により困難をきたし、地方では地元の大学・短大・専門学校へ進学するよう指導を行っている高等学校が散見されました。

JTB教育旅行営業個所との連携を図りましたが、今年度は支店長推薦を得ることができませんでした。JTB旅ホ連関東支部連合会並びにBOB会事務局に入学希望者の紹介チラシを旅ホ連ニュース、会報に同封し発送するというご支援をいただきました。

留学生の募集につきましては、入学実績の高い日本語学校を優先的に訪問しながら、在籍数の少ない状況でも優秀な留学生確保に向けた営業活動や情報収集に努めました。

(3) オープンキャンパス（学校説明会）について

ツーリズム産業の楽しさを肌で感じてもらうべく、国内観光資源、海外観光資源や旅行端末操作、ホテルのレストランサービス等、実体験を含む模擬授業を設定しました。カレッジサポーター（在校生）との交流により、本校の雰囲気と、入学後のイメージを実感してもらいました。AO 特待生受験者向けや生徒に帯同する保護者向けに特化したプログラムも実施し、参加者の興味に沿った案内を徹底しました。

実施状況については、本校開催の説明会参加者は 148 人（前年比 61.2%）と大幅に減少しましたので、学外での説明会につきまして 409 人（前年比 177.1%）と接点を増やすよう努めました。オープンキャンパスへの参加数は大幅に減ったものの、ツーリズム産業で活躍することをより強く希望する生徒が集まりました。

今後も入学対象者との接点に拘ることにより、ツーリズム産業で活躍することを志す有望な学生の確保に努めます。

5. 総務・財務関連

(1) 収支バランスの維持と経営基盤の安定化

今年度の事業活動収支につきましては【表 13】のとおり 95,897 千円の支出超過となりました。

事業活動収入については、ツーリズム産業に対する将来不安により、入学者が大きく減少しました。これに対応すべく人件費削減や支出精査により、事業活動支出を圧縮しましたが、その一方で学生・教職員及び近隣住民の安全確保最優先のため東南面の外壁修繕 21 百万円の経費支出をし、学校運営に必要な費用の支出を実施しております。

基本金につきましては、当年度の固定資産取得が除却額を若干上回り、14 億 87 百万円となりました。

【表 13】事業活動収支状況、及び基本金の推移

[単位：千円]

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
事業活動収入	399,982	562,679	551,865	532,387	580,561	613,768
事業活動支出	495,880	564,379	550,837	520,256	573,322	570,617
事業活動収支差額	▲ 95,897	▲ 1,700	1,027	12,131	7,239	43,151
翌年度繰越収支差額	198,906	295,805	298,784	303,593	536,022	528,783
前年良否	▲ 96,899	▲ 2,979	▲ 4,809	▲ 232,429	+ 7,239	+ 43,151
前年対比	67.2%	99.0%	98.4%	56.6%	101.4%	108.9%
基本金	1,487,756	1,486,753	1,485,475	1,479,638	1,235,078	1,235,078
前年度増減	1,002	1,278	5,837	244,560	0	0
前年度末対比	100.1%	100.1%	100.4%	119.8%	100.0%	100.0%

(2) 設備投資状況

今年度の、学習環境及び職員就業環境の改善に向けた、主な設備投資・補修工事の実施、並びに備品の購入状況は【表 14】のとおりです。

【表14】2021年度 設備投資状況

実施時期	実 施 内 容	予算	実績	記事
2021年05月	災害備品 クッキー	2,240千円	531千円	10年
2021年06月	災害備品 保存水500ml	〃	277千円	7年
2021年11月	Operaサーバー入費	4,000千円	1,711千円	私学財団助成金申請、 受領済
2021年11月	第2PC教室プリンター2台	760千円	490千円	※予算にはソフトウェア導 入費含む
2021年12月	屋上設備 機器交換等		394千円	動力盤、リレー交換
2022年01月	101教室 プロジェクター		591千円	故障につき買替
2022年01月	第1PC教室ディスプレイ		660千円	一部不具合あり 入替え購入
2022年03月	Canbus 設定費		3,300千円	進路指導DB 機能開発費
2022年03月	図書室コピー機用コインキット		222千円	故障につき買替
2022年03月	Operaソフトウェア導入費		2,090千円	サーバー更新、導入
2021年度	図書 ※選定委員会 (資産扱12冊)	100千円	33千円	2千円以下は経費処理に つき含まず
2021年度計		7,100千円	10,298千円	

(3) 学校経営の中長期的安定化を見据えた経営課題への対応

新・中期経営計画“RE-CREATION JTC”における、課題解決に向け、以下のとおりの取組みを行いました。

① JTC リブランディングに向けた取組み

・会議および委員会

マネジメント層による経営会議および部長会議に加え、ミドルマネジメント層による運営諸課題を検討する場として業務推進会議を定義し、定期開催のうえ、上位の会議体への提案や承認案件の執行を行いました。なお、業務推進会議から分離した委員会（「内部統制（コンプライアンス・リスクマネジメント）」「安全衛生」「Smile 活動（ブランディング・ダイバーシティ）」）についても定期開催しています。

・リスク管理（内部統制）

ルールに則った運営をしておりましたが、適切な学校運営を行うための規程や内規等について、一部の明文化と共有、更新がされていませんでした。このため、前年度の下期に公認会計士に確認と指導をいただいたうえで、上期に整備を終えました。また、ITセキュリティ整備の取組みの継続実施に加え、個人情報保護についても管理台帳を再整備し、定期的なチェックを実施し、情報保護の強化を図りました。

・図書管理

図書の充実を図るべく、図書選定委員会を組織し、新たに観光関連や教員推薦図書の購入を行いました。また「新刊コーナー」を図書室に設置したり、「教員お薦め図書」として校内にポスターを掲示するなど図書の利用促進も図りました。図書貸出数は年間 250 冊を超え、前年の 4 倍を超えました。

・同窓会組織運営

同窓会組織の活性化に向け、専任者を配置し、約 7,500 名の卒業生情報のアップデート、ネットワークの整備を実施しました。コロナの感染状況により、予定していた周年事業は中止となりましたが、今後も更に組織の強化を図り、就職活動

や学生募集活動に活用できる人脈ネットワークの構築を図って参ります。

② JTC 事業のデジタル化

- ・学生への学校メールアカウント付与による、アンケートやクラウドサーバーにおける Google サービスの活用を始めました。また、遠隔授業をはじめ募集説明会や入試面接に加え、重要な会議においてもオンライン開催をいたしました。
- ・就職活動、学生募集、学生用掲示板として使用しているシステム（デジエ）後継の検討を行い、就職活動について、新しい WEB データベースを構築し、テスト稼働をさせています。
- ・学生管理システム（InfoClipper）については、クラウドサービスへの移行に向けて、実施する IT セキュリティ対策を決定し、デモを実施しました。
学生の入口から出口までの一元管理を行うシステムとして、本導入に向けた追加機能の整理を継続しています。

5. その他

(1) 要員体制について

	常勤教職員・役員						専門講師 (非常勤)	合計
	校長 (理事)	理事	教務職員	事務職員	派遣職員	計		
2021年度期首	1名	2名	14名	13名	1名	31名	36名	67名
2021年度期末	1名	2名	14名	13名	1名	31名	36名	67名

*その他、理事長1名(非常勤)、学校医1名(非常勤)、保健師1名(非常勤)

(2) 評議員会・理事会の開催状況について

【評議員会】

回	開催日	議案	議案内容
第1回	2021/5/26	1	【諮問事項】2020年度事業報告及び決算に関する件
		2	【決議事項】理事の補欠選任に関する件
		3	【決議事項】監事の補欠選任に関する件
		4	【決議事項】議事録署名人の選任に関する件
第2回	2022/3/23	1	【報告事項】2021年度学校運営概況に関する件
		2	【諮問事項】2021年度予算改定に関する件
		3	【諮問事項】2022年度学校運営計画及び予算案に関する件
		4	【諮問事項】規程の新設(評議員会運営細則)に関する件
		5	【決議事項】議事録署名人の選任に関する件

【理事会】

回	開催日	議案	議案内容
第1回	2021/4/30	1	監事の補欠選任に関する件
		2	評議員の補欠選任に関する件
		3	議事録署名人の選任に関する件
第2回	2021/5/26	1	2020年度事業報告及び決算に関する件
		2	監事の選任に関する件
		3	議事録署名人の選任に関する件
第3回	2021/11/24	1	2021年度上期学校運営概況に関する件
		2	各種規定類の新設および改定に関する件
		3	議事録署名人の選任に関する件
第4回	2022/3/23	1	2021年度学校運営概況に関する件
		2	2021年度予算改定に関する件
		3	2022年度学校運営計画及び予算案に関する件
		4	特定資産取崩しに関する件
		5	規程の新設(評議員会運営細則)に関する件
		6	校長の補欠選任に関する件
		7	常務理事の選任に関する件
		8	理事の補欠選任に関する件
		9	理事長に事故あるとき、または理事長が欠けた時における職務代行順位の件
		10	退任理事に対する退任慰労金贈呈に関する件
		11	議事録署名人の選任に関する件

なお、2022年度につきましては、

理事会 …… 5月25日(水)、11月30日(水)、2023年3月22日(水)

評議員会 …… 5月25日(水)、2023年3月22日(水)

に開催を予定しております。

以上